

ふくしまから はじめよう。

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番 16号
☎024(521)7014

ゆめ だより

福島県広報誌

8月号

2012 No.233

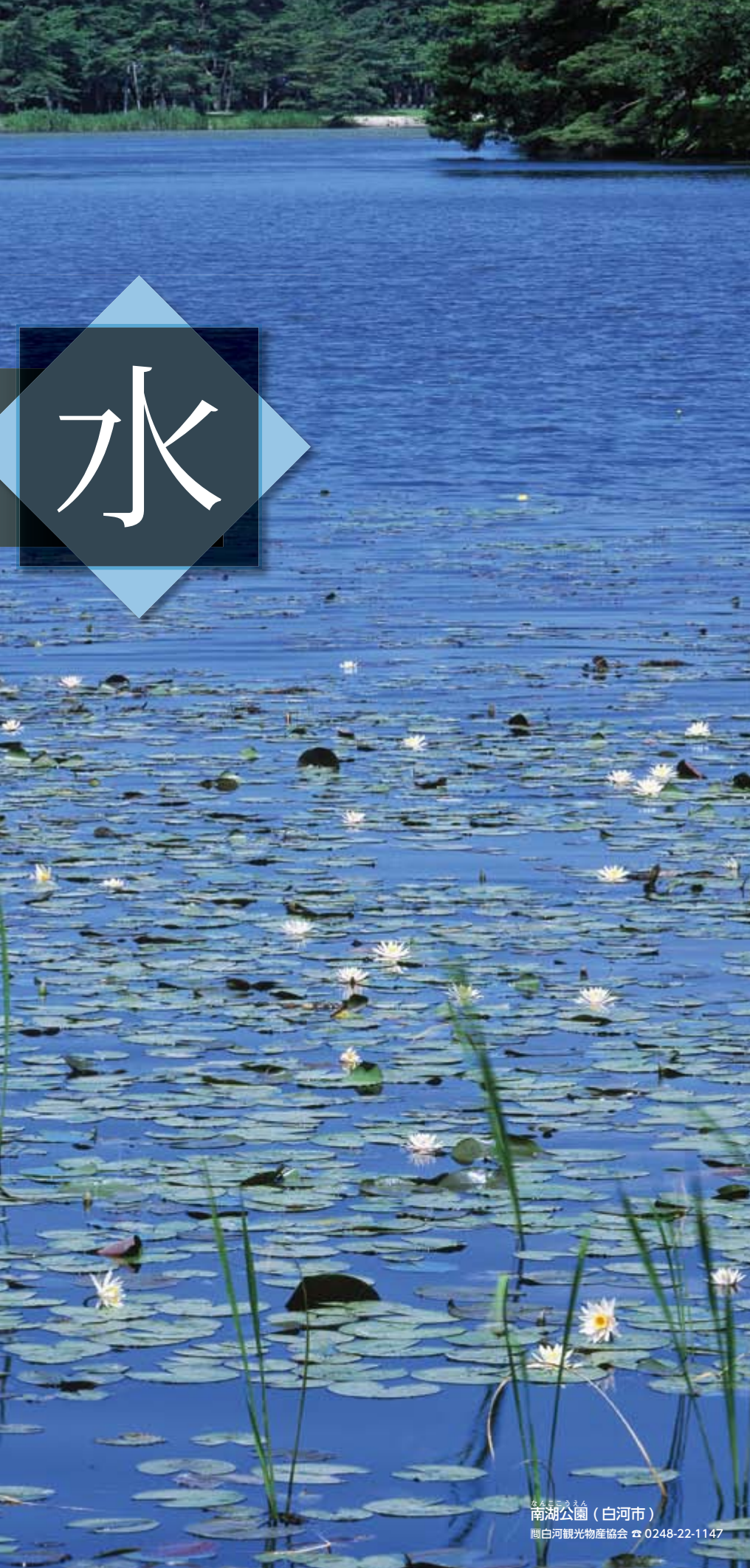
年6回(偶数月)

皆さんのもとにお届けします。



特集

「ふくしまの恵み」の 安全・安心のために



ふくしまからはじめよう。ゆめだより

2012
No.233

8月号

C O N T E N T S

もくじ

ふくしまの宝「水」…………… 2
 特集：「ふくしまの恵み」の
 安全・安心のために…………… 4
 震災の記憶…………… 7
 ふくしまの食…………… 8
 キビタンのわかる県政…………… 9
 震災関連相談窓口…………… 9
 ふくしまの今…………… 10
 地域ゆめ情報…………… 12
 県からのお知らせ…………… 14
 施設インフォメーション…………… 15
 ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

いわき市の環境水族館、アクアマリン
 ふくしまは、震災によって大きな被害を
 受けましたが、さまざまな支援やスタッフ
 のがんばりでたくさんの魚が戻り、子ど
 もの笑顔や歓声が広がっています。
 館内は魚の展示のほか、タッチプール
 など海の生き物とじかに触れ合ったり、
 さまざまな体験ができる施設がたくさん
 あります。
 この夏はぜひ皆さんも、アクアマリン
 ふくしまにお出かけになってみては？

募集しています

ゆめだよりでは、県民の皆さんが地元で誇りに
 している「宝」を募集しています。「緑」「山」「水（川）」
 「民芸品、伝統工芸品」「食（伝統食）」「城（城跡）」
 など、何でも結構です。さまざまな宝の名称・場
 所などに関して、〒960-8670 県庁広報課・「ふ
 くしまの宝」係まで情報をお寄せください。

ふくしまの宝
 南湖公園（白河市）
 白河観光物産協会 ☎ 0248-22-1147

福島には、清らかな川、優美な滝、豊かな水をたたえた湖など、恵まれた自然の中にきれいな水がたくさんあります。それらは自然のたたくまひの中で、四季折々にさまざまな表情を見せ、人々に愛されてきました。また福島のおいしい日本酒も、おいしいラーメンも、この豊かな水があるからこそ生み出されるといわれています。



1

水は食生活も含め、人間が生きていく上で必要不可欠なものです。水のあるところに人々の暮らしがあり、豊かな水は人々の生活の幸を見つめながら、地域の中を流れています。素晴らしい環境の中で育まれ、私たちの生命を支えてきた福島の水。川や滝、湖など、それぞれの美しさに身近に触れ、親しんでみませんか。

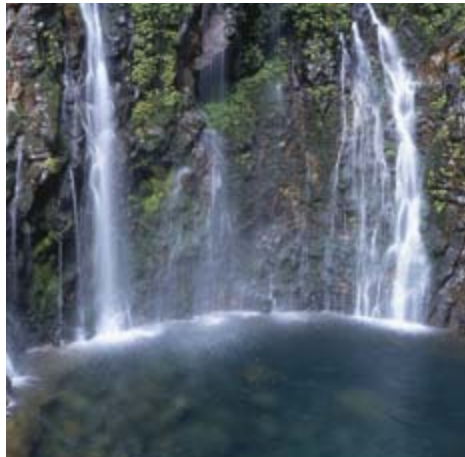
1. 伊南川と屏風岩 (南会津町)
いながわ びょうふういわ
 関南会津町観光物産協会 ☎ 0241-62-3000
2. 二階滝 (いわき市)
にかいだき
 関いわき市総合観光案内所 ☎ 0246-23-0122
3. 幕滝清流 (福島市)
まくたきせいのりゅう
 関土湯温泉観光協会 ☎ 024-595-2217
4. 万太郎川 (川内村)
まんたろうがわ
 関川内村役場 ☎ 0240-38-2111
5. 達沢不動滝 (猪苗代町)
たつきわふどうたき
 関猪苗代観光協会 ☎ 0242-62-2048

ふくしまの宝

美しい自然の中にある福島の豊かな水は、人々の暮らしを守り続けています。



2



3



4



5



「ふくしまの恵みの安全・安心のために」

● 農林水産業再生プロジェクト「ふくしまの農林水産業の再生」

ふくしまの誇る豊かな農林水産物の安全・安心を守るため、県では農用地の除染や放射性物質の吸収を抑制する技術の開発などに取り組んでいます。また、出荷時には、モニタリング検査をきめ細かく行い、安全で安心な農産物をお届けしています。今回は、産地における検査や米の全袋検査など、安全・安心へ向けた新たな取り組みについてご案内します。

インタビュー

産地での検査 (JA、出荷業者など) の強化に取り組んでいます

これまで、安全・安心の確保に積極的に取り組んできたJA伊達みらいの芳賀武志さんに、新たな検査強化について伺いました。



JA 伊達みらい 営農生活部
芳賀 武志さん

昨年の桃は出来が良く、早生のもは出荷・金額ともに好調でした。それが、稲ワラ・牛肉などから放射性物質が検出された頃から、安全性に対する懸念の影響が出始め、シーズンが終わってみると桃の売上

高は例年の3分の2と予想以上に落ち込みました。

今年はチームを組んで樹木の洗浄に取り組みました。また4月

からは新たに、JA伊達みらい管内の農産物は出荷前に放射性物質の全戸検査を実施。産地の責任として、安全性について出来る限りのことをやった上で、おいしいもの・いいものを提供したいと思っています。それには、情報を求める人に対して、しっかりと提示できるようにしておくことが大切。もし聞かれたら、「こうやって、こうなります」と、最終的な数字だけでなく、そこに至る取り組み、プロセスも伝えられるように準備したいです。

これからは、県外から実際に福島に来てもらって「福島の人には普通に生活して、地元のものも食べている」という姿に触れてもらう、といったことが大事だと思います。この積み重ねだと思います。相馬沖で取れたタコを地元のスーパーで売って、試食で皆さんが食べた、完売した…という報道がNHKの全国放送でされましたが、そういったことが継続的にされて、口コミでも広がっていけばうれしいですね。

「ふくしまの恵み」安全・安心の確保に向けた取り組み

1 新たに検査機器を導入します。

米や果実・野菜等の検査機器を、新たに県内各産地に導入します。

2 検査情報をわかりやすく提供します。

検査結果などの情報をわかりやすく提供する仕組みをつくれます。

3 検査の推進体制を整備します。

県・各地域に協議会を設置して、県・市町村・関係団体が一体となって検査を推進します。

4 消費者の皆さんへのPR活動を展開します。

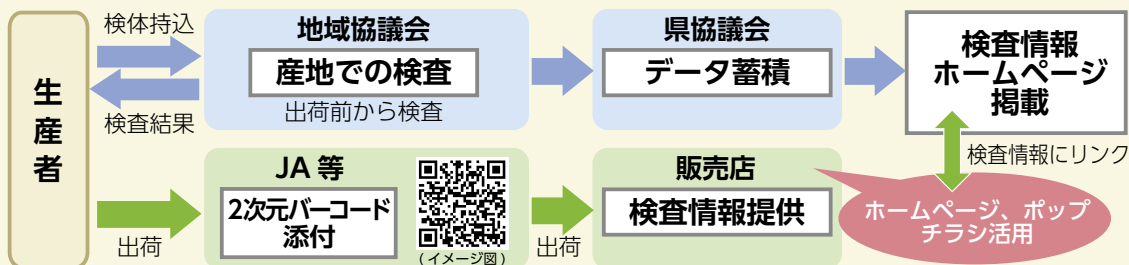
モモや米を中心に、県産農林水産物の素晴らしさや安全性を理解していただくため、車内広告やテレビCMなどによるPRを行います。

食卓に安全・安心な「おいしい!!」を届けるために、始めています。

果実
野菜
の場合

売り場で検査情報がすぐ見られます「見える化」の導入推進

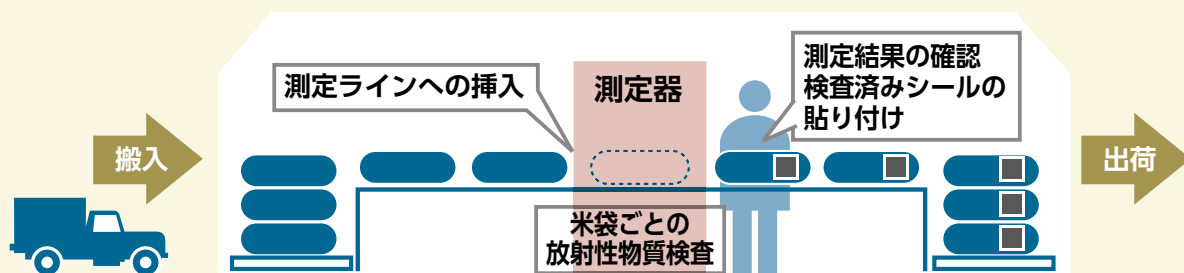
新たな検査機器を各産地に導入し、産地で実施する検査体制を整えることで、県が実施するモニタリング検査と二重の安全確認を行います。さらに、検査情報を見ただけのよう、**2次元バーコード**などを用いた安全性の「見える化」を、福島県の農産物を代表する桃から、順次導入します。



米
の場合

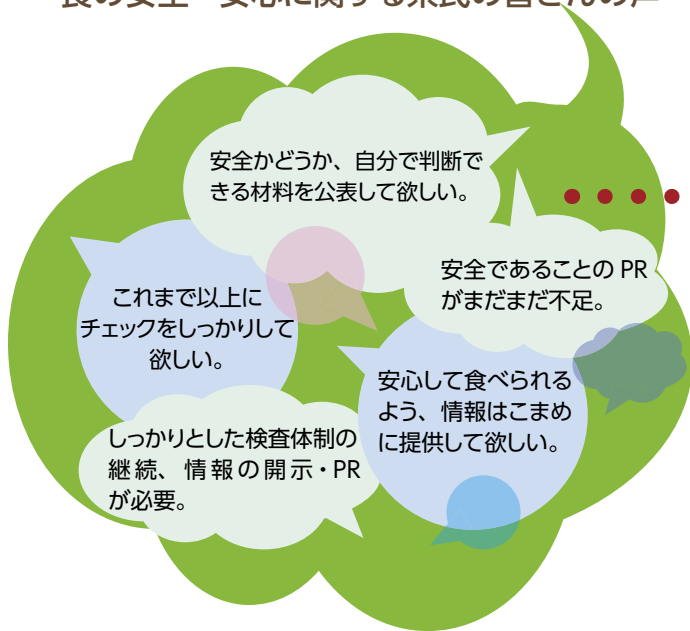
全てのお米を検査します「全袋検査」を実施

米は主食として常に口にすることから、県民の皆さんが特に高い関心を持っている品目です。今年、新たに開発された米のベルトコンベヤー式検査機器を県内全域に導入し、**県内で生産される全ての米を検査**し安全確保に取り組んでいきます。安全性を確認した米袋には、検査済みシールを貼り付けて確認できるようにします。米の生産者の皆さんには、家族・親戚で消費する米を含め、本年生産した全ての米の検査を受けていただくようお願いいたします。



消費者の皆さんへ、「ふくしまの恵み」の安全・安心を伝えるために

食の安全・安心に関する県民の皆さんの声



モニタリング検査結果を速やかに公表しています

農産物のモニタリング検査結果は、県ホームページや新聞などで速やかに公表しているほか、「ふくしま 新発売。」ウェブサイトから、品目別や地域別に簡単に検索できます。携帯電話からも、ご覧になれます。

なお、4月から、放射性物質の基準値が引き下げられ、検査結果が100ベクレル/kgを越えた品目については、出荷が制限され市場に流通していません。また、放射性物質の値についても、軒並み減少傾向にあります。



ふくしま 新発売。

検索

知事メッセージ



福島県の「食」に安全・安心を取り戻す

福島県知事 佐藤 雄平

「福島の夏」。私は、甘くみずみずしいモモを真っ先に思い浮かべます。ほかにも初夏のサクランボからはじまり、ぶどう、きゅうり、トマト…。福島の夏は彩り豊かなおいしい食べ物にあふれています。

四季折々に旬の食材があり、一年を通して新鮮でおいしいものが食べられる。それが福島です。

また、地域ごとに個性豊かな味覚や食文化が息づいていることも、福島県の大きな魅力であり、その「食」を支える農林水産業は、まさに本県の基幹産業です。

しかし、その農林水産業が、原発事故に伴う風評によって極めて厳しい状況に置かれています。

「農林水産業の復興なくして、福島県の復興なし」

豊かな自然に育まれた、多彩な農林水産物は福島県が誇る「宝」です。そうした思いから、県では、県内外の皆さんに安心しておいしく召し上がっていただけるよう、引き続き全力を注いで、しっかりと検査をし、結果を分かりやすくお知らせしてまいります。

また、これまで本県ゆかりの著名な方々やJAの皆さんと一緒に、私も直接、首都圏をはじめ全国の皆さんに本県農林水産物の魅力と安全性をお伝えしてまいりました。これからもさまざまなメディアの活用とあわせ、こうした取り組みにさらに力を入れてまいります。

モニターツアーを実施しています!

今の福島を見に行く ツアーの実施

6月29日

県では、首都圏の方々に、現在の本県の姿やモニタリング検査などの様々な取り組みを見ていただく、モニターツアーを実施しています。

今年3月にいわき市で開催した第1回目のモニターツアーに続き、第2回目のモニターツアーを福島市で開催しました。

参加者からは、「検査の仕組みが分かって安心できた」、「福島県産の野菜・果物を食べていきたい」などの声が寄せられました。



お知らせ

食の祭典

どちどら★共働フェア
ふくしま満喫大2012

9月8日(土)、9日(日)
ビッグパレットふくしま(郡山市)

入場無料

ごちそうふくしま満喫フェア2012

検索

震 災 の 記 憶

最良の結果を信じ、最悪に備える

相馬市の風光明媚な景勝地・松川浦までわずかに数メートルという場所に位置する「みなと保育園」。子どもたちのお昼寝中に発生した長く強い揺れの中、職員は園児の安否確認を何度も行い、一人もけが人を出さずことなく避難することができました。

職員の冷静・的確な指示で子どもたちも迅速に避難できた

当日は約190人が登園しており、150人ほどはすぐに迎えに来た保護者に帰すことができました。しかし、その後大津波警報が発令され、いつ、どんな大きさの津波が来るかも分からないまま、できるだけ高い所へと、残った園児を園舎の屋根に避難させることを決断。脚立をはしこにし、0、1歳児は職員が背負って、その他の園児は自分で屋根へ上りました。園児と約30人の



▲和田園長(後列中央)と園児・職員



▲震災後に準備した防災ずきんと避難用ベビーカー



▲避難用はしごとモニタリングポストも設置

職員、近隣の住民も加わり約100人が屋根の上で2時間ほど過ごした後、近くの公民館へ歩いて避難、さらに市の手配したバスで中学校へと移動しました。混乱の中、全ての園児が保護者と会えたのは翌日の朝のことでした。

「日頃から月2回避難訓練を行っていましたが、津波は想定していなかったですね」と園長の和田信寿さん。子どもたちは、寒さの中でも泣いたり騒いだりすることもなく、職員の指示に従ったことが驚きでしたと話します。

安心して子どもを預けられるよう万が一に備えての準備は万端に

震災後には「最良の結果を信じ、最悪に備える」をモットーに、避難用はしこを4台設置。さらに全園児・職員分の防災ずきん、避難用のベビーカー、非常用飲料水などを備えました。保護者には、大津波警報が発令された場合の避難経路をまとめて配布し、万が一の場合にも冷静に対応できるように周知しています。

また、少しでも安心して子供を預けてもらえるようにと、園舎内外の放射線量を毎日測定・掲示しています。「今でも全国からたくさんの支援をいただき、心の傷は痛いけど、涙で流し笑いで飛ばせ、と頑張っています」と和田園長。園舎内に響く子どもたちの元気な声が、一番の復興の源になっているそうです。

募集しています

県では、東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓などを募集しています。県歴史資料館(電話 024-534-9220)まで情報をお寄せください。いただいた情報については、あらかじめ日程を調整し、記録などの収集に伺います。

寄附金の活用状況と義援金の配分状況

国内外の皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

寄附金の受入実績(6月末現在) 86億4千万円(2,818件)

県に寄せられた寄附金は、災害の復旧・復興のための財源として活用しています。

- おもな用途
- サテライト校(被災校の臨時校舎)の運営費用
 - 交通手段の無い被災生徒の通学支援
 - 仮設住宅の環境改善
 - 原子力災害による風評被害対策

問/県庁生活環境総務課 ☎024-521-7669

義援金の受入・配分状況(6月末現在)

県や国(日本赤十字社など)に寄せられた義援金は、市町村を通じて被災者の皆さまに、順次お届けしています。配分基準は市町村で決定していますので、詳しくは、被災時にお住まいだった市町村にお問い合わせください。

受入額

- 福島県義援金 200億2千万円
- 国(日赤など)義援金1,226億1千万円

市町村への配分額

- 福島県義援金 187億7千万円
- 国(日赤など)義援金1,190億4千万円

被災者への配分済額

- 福島県義援金 168億5千万円
- 国(日赤など)義援金1,060億1千万円

※住居被害の認定作業は現在も続けられており、新たに受け取る方にお届けするため、県及び市町村では一部義援金を留保しています。今後、住居被害の認定作業の進捗状況などに応じ、配分します。

問/県庁社会福祉課 ☎024-521-7322

雪室予冷で美味しさギュッ！

南郷トマト

安心・安全なトマトをお届け



今が旬の「南郷トマト」は、昭和37年に旧南郷村で生産を始めて以来、今年でちょうど50年を迎えます。現在は郡内の南会津町・只見町・下郷町の約120戸で生産され、京浜方面や大阪などに出荷されています。



春先まで残った雪を雪室に保存して利用



JA 会津みなみ西部地区

星 晴博さん

食味にこだわって作られるトマトは甘味と酸味のバランスが良く、8月中旬〜9月が収穫のピーク。東日本大震災での被害は無かったものの、昨年7月の新潟・福島豪雨により生産面積の約2割が被害を受け、出荷量も減ってしまいました。「今年は生産体制も整いました。例年同様の出荷量が可能になりました。原発事故の風評被害を払拭するため全ての農地で土の放射性物質検査を行い、また使用する水系の検査も行い、安全を確認しています」と、JA会津みなみ西部地区営農課の星晴博さん。「南郷地区は水害の被害が少なかったため、他地区の復旧作



▲出荷を間近に控えたトマトを襲った水害



◀植えたばかりのトマトの苗

業のお手伝いをしました。おいしいトマトを作るには色々な苦労がありますが、実った時の喜びの方が大きいですね」と生産者の馬場相任さんも話します。

朝収穫されたトマトは、鮮度保持のため雪室で予冷してから翌日出荷します。「雪室で予冷すると、鮮やかな色上がりとなり硬く締まったトマトになります。雪室は電気を使わず、解けて水を出すだけ。非常にエコなんです。おいしさそのまま雪のエキスと一緒に出荷しています」と星さん。防虫ネットや防草シートの導入で減農薬に努めるなど、おいしいトマト作りには手間がかかりますが、イターンや新規の就農者も増えていることから、今後生産量の増加にも期待が寄せられています。



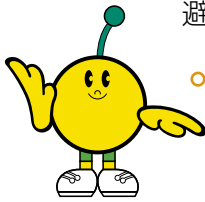
写真右から

生産指導を行っているJA職員 星 毅さん・馬場 太陽さん

生産者の馬場 相任さん、新規就農者(研修中)の佐藤 徳男さん

地域と人の復興・帰還支援について

東日本大震災や原子力災害により避難地域となっている市町村の復興への取り組みや、避難されている方に対する県の支援体制についてご説明します。



どうい
う体
制なの？

県がどのよ
うに
取り組んで
いるか、
教えて

どこに相談
していいか、
分からない

窓口は
どこ？



避難地域への支援

避難地域復興局(企画調整部内)

避難地域にある市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)のふるさとへの帰還や復興の推進は、福島県の復興・再生への取り組みの中でも特に重要です。

連携

避難されている方への支援

避難者支援課(生活環境部内)

被災された方や県内外に避難されている方が、ふるさとで安心して暮らすことができるようになるまで、生活支援や、避難先においてふくしまとの絆を維持できるような支援が必要です。

Q どんな業務を行っているの？

A 避難地域にある市町村のための県の総合的な窓口として、この地域の復興・帰還を進める業務を行っています。

●具体的には…

避難地域にある市町村へ駐在員(県職員)を配置し、市町村と連携を図りながら、丁寧に課題の解決に当たっています。また、除染、原子力損害賠償、長期避難者支援、区域見直し、インフラ復旧などについて、部局間連携を図りながら、国に対して施策の要望や、関係機関との調整を行っています。

Q どんな業務を行っているの？

A 被災された方の生活再建に関する業務や、避難されている方を受入れている自治体との連絡調整、避難されている方への情報提供などを行っています。

●具体的には…

被災された方の生活再建のため、被災者生活再建支援金の支給などを行っています。また、近隣都県に駐在員(県職員)を派遣し、避難されている方からの相談対応や避難先での交流会の促進、生活支援などに関する情報の提供を行っています。

【このように、県は組織間連携、国や市町村との調整などの役割を担い、避難地域の復興や避難されている方への帰還に向けた支援に主体的に取り組んでいます。】

お問い合わせ先 避難地域復興局 ☎024-521-8435

お問い合わせ先 避難者支援課 ☎024-523-4157

主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する 問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土 日 祝 日：午前8時30分～午後6時	☎ 0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに 関する問い合わせ	月～金曜日：午前8時30分～午後8時(祝日を除く) ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を 実施	☎ 024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅など への入居及び被災住宅の 改修に関すること	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(521)7698
	県外に避難した人の相談	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎ 024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に 関する問い合わせ	県立医科大学 県民健康管理調査事務局 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017

ふくしまの 今

地元の患者さんたちの
求めに応じて開業

今年5月、南相馬市鹿島区の仮設住宅団地に診療所が開業。素朴な木製の看板に掲げられた“絆”の文字には、たくさんの想いが込められていました。



絆診療所の院長・遠藤清次さんは、南相馬市立小高病院の元院長。今年1月まで猪苗代病院で診療していましたが、原発事故で南相馬市鹿島区に多く避難している同市小高区の人たちの求めに応じて、仮設住宅団地に開業を決めました。

「お役に立てる自信があるのですが、今のところ患者さんが少なく残念（笑）。ぜひ来てほしいですね」

目指すのは、生活や環境なども含めた「人全体をみる医療」。「いま、仮設住宅に住む人たちの生活上、課題になっているのは、食事と運動、そして生きがいです。診療所では管理栄養士に食事の相談ができますし、歩いて病院に来れば運動にもなります。難しいのが、生きがい」

絆診療所 院長 ● 遠藤清次さん（南相馬市）

人と人の「絆」をつなぐ地域医療 仮設診療所に復興の旗を掲げよう！



（上）診療所のスタッフは7人。診療所周辺を彩る花は、猪苗代病院の医師と仲間が開所式に植えてくれました。

（右）絆診療所院長の遠藤清次さん。再会した患者さんとは「無事でよかった」と会話が弾みます。

絆つないで

楡葉町民が避難生活を送っている会津美里町の宮里仮設住宅。ここでは、会津の住民の皆さんが楡葉町社会福祉協議会と協力しながら、避難者と交流を深める「んだんだ会」を毎月1回開催しています。

んだんだ会【会津若松市】



☎0242(22)6174



▲慣れないお手玉づくりに四苦八苦、でもみんなでやるから楽しい

一緒に笑って、しゃべって友達に。
震災で生まれた新たなつながり。

んだんだ会は、会津若松市の浄土真宗本願寺派本光寺副住職の沖井智子さんが、「楡葉町の皆さんと友達になりたい」と今年の1月に発足。楡葉町社会福祉協議会が毎週開催しているサロンの月1回を「んだんだ会」の活動の場としています。活動日には、寺やガールスカウトの仲間が集まり、避難者の皆さんとともに交流を楽しんでいます。

「んだんだ」は会津の方言で「そうそう」という共感を表す温かみのある言葉。避難者の皆さんの悩みや不安に耳を傾け語り合うことで、心を和ませてほしいという意味が込められています。

これまで、おひなさまづくりや史跡を巡るハイキングなどさまざまな催しを開催。「今まで交流が無かった方たちとつながりが生まれ、友達になれたことが嬉しい」と沖井さんは話します。6回目となるこの日の活動は「お手玉づくり」。参加された皆さんは和気あいあいと楽しみ、終始笑顔を見せていました。夕方からは、学校から帰ってきた楡葉町の子どもたちと、お手玉遊びや折り紙づくりが行われ、元気でにぎやかな声が響いていました。

避難者の皆さんに耳を傾け、一緒におしゃべりを楽しむ「んだんだ会」。今後は数珠づくりや喜多方へのハイキングを予定。これからも笑顔あふれる活動が続きます。



▲5月に開催された史跡ハイキング



▲んだんだ会を開催する沖井さんたち(後列左から2番目)



▲子どもたちに教えたり、教えられながら折り紙を楽しむ皆さん

ですが、困った時はここで話してほしいと伝えていきます」
遠藤さんが小高病院の院長になったのは平成20年。その頃、小高病院の存続は危ぶまれていました。小高区の住民は「地域医療の灯を消すまい」と、わずか2週間で1万人を超す署名を集め、病院の存続を南相馬市に要望するなど、懸命に働きかけました。住民の熱意が通じ平成23年3月3日の会議で小高病院の存続が決定。
病院職員と地域住民が紡いできた「絆」が、その後間もなく

断ち切られてしまうと、誰にも想像できませんでした。
**生かされた命を役立て
困っている人に寄り添いたい**
震災とその後、原発事故に見舞われ、入院患者の搬送、その後の深刻な物資不足など、数々の困難に直面した遠藤さんが何より大切だと感じたのも、人と人の「絆」です。
「生死紙一重の極限の状態、共に患者さんの命を守った職員、物資を届けてくれたり、患者さんを助けに来てくれた人が

いました。人が人を思い、信じられること。そして、人のために何か努力したり役に立つことを力を知りました。これからは、生かされたこの命を人のために役立てたい」と遠藤さん。
「困っている人の近くで仕事をするのが、自分にできる復興」。そう言い切る遠藤さんの表情は、確信に満ちていました。



(左)看板は、親交のある長野県の諏訪中央病院の鎌田實名誉院長の筆によるもの。

(下)かつて「小高病院を守る会」の中心的存在だった横山夫妻は南相馬市原町区で仮住まい中。遠藤さんが猪苗代病院にいた間は、猪苗代町まで通ったそうです。



桑折町

桑折宿
軽トラ市

桑折宿軽トラ市は、4月から12月の毎月第4日曜日に旧福島蚕糸跡地（桑折町東段）を会場に開催しています。

約20台の軽トラックの荷台をお店代わりに、地元の新鮮野菜や工芸品、食品などを販売。時間は午前9時から正午まで。毎月趣向を凝らしたイベントもあり、当日は多くの来場者が賑わいます。



桑折町商工会

☎024(582)2474

いわき市

第2回フラガールズ甲子園
「踊らう！フラガールのふるさとで！」



昨年の第1回大会は、震災の影響により、東京・秋葉原での開催でしたが、今回は念願のいわき市（いわきアリオス）にて、8月19日（日）に開催します。

観覧（2〜4階席）は無料ですので、高校生の皆さんによる熱いフラのステージをお楽しみください。
【開演】午後12時30分〜

フラガールズ甲子園実行委員会事務局いわき青委事務所内

☎024(6)24(0)780

浅川町

県内最古の伝統を誇る
浅川の花火

浅川の花火は、毎年8月16日に開催され、供養花火として両町青年会の若者が大会を主催しています。

花火大会の呼び物である城山山頂で炸裂する「大地雷火」や青年会自らが作り上げる「大からくり」は他の花火大会では見ることができない花火です。
ぜひ、ご来場ください。



浅川町農政商工課

☎0247(3)1183



磐梯山ブランド認定

日本ジオパークに登録されている磐梯山は、「玉の山」と呼ばれています。その恵みである地元素材を使用した商品を、磐梯山ブランドとして認定。地酒や木工品、加工食品などのブランド商品のほか、観光情報を掲載したマップも作成しました。磐梯山の恵みたっぷりの商品をぜひおみやげなどにいかがですか。



磐梯高原商工会広域連合協議会

☎0242(6)2336-1

県内の主なイベント

8月

郡山市 **スイスの絵本画家 クレイドルフの世界展**

8月4日(土)～9月17日(月) / 郡山市立美術館
 〒郡山市立美術館 024(956)2200

相馬市 **大瓜市**

8月12日(日) / 宇多川町通り
 〒宇多川町商店街振興組合 0244(35)2047

須賀川市 **釈迦堂川全国花火大会**

8月18日(土) / JR須賀川駅前河川敷周辺
 〒須賀川市釈迦堂川全国花火大会実行委員会 0248(88)9144

檜枝岐 **檜枝岐歌舞伎**

8月18日(土)、9月1日(土) / 檜枝岐の舞台
 〒尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241(75)2432

田村市 **灯籠流しと花火大会**

8月19日(日) / 大滝根川河畔
 〒船引町観光協会 0247(82)4264

金山町 **山入地区芸能発表会**

9月5日(水) / 金山町芸能伝承館
 〒山入近隣会 0241(56)4441

南会津町 **古町まつり**

9月8日(土)～9日(日) / 南会津町伊南地域古町
 〒伊南観光センター 0241(76)2517

玉川村 **たまかわ元気スポーツクラブ佐藤敦之・美穂選手ランニング教室**

9月16日(日) / 玉川村民グラウンド
 〒たまかわ元気スポーツクラブ事務局(玉川村公民館内)
 0247(57)4632

下郷町 **浪漫のこみち 100万年ウォーク**

9月17日(月) / 湯野上温泉駅スタート
 〒下郷町商工会 0241(67)3135

国見町 **義経まつり**

9月23日(日) / 国見町上野台運動公園
 〒国見町企画情報課 024(585)2927

西会津町 **第7回フォルクスワーゲン大集合**

9月23日(日) / さゆり公園
 〒(株)西会津町振興公社 0241(45)2025

その他の行事はホームページ



コードF-3

映画『天地明察』9/15公開記念

開催場所 **福島県7エリア**

いわき市 白河市 三春町
 会津若松市 伊達市 南会津町 会津美里町

開催期間 **2012/8/1(水)～11/25(日)**

謎めいた宝の地図
 (参加チラシ)を手がかりに、福島県内7エリアのどこかに隠された宝箱を探し出せ!!
 宝箱の発見者には、先着順で各エリアのオリジナル特典と発見者賞がもらえるほか、抽選でステキな商品をプレゼント!

問い合わせ先: 福島県観光交流課
 TEL: 024-521-7398

会津若松市観光課

0242(39)1251



白虎隊
慰霊祭

9月24日(月)に、飯盛山の白虎隊士の墓前で白虎隊慰霊祭が行われます。

時代の流れに翻弄(ほんろう)され、悲しい最期を遂げた白虎隊士の霊を慰めるため、会津高校の生徒による「白虎隊剣舞」を奉納します。ぜひご参加ください。

【時間】午前10時30分～正午



あんこ地蔵供養祭

地域に尽くし住民から慕われた家山和尚(かざんおしょう)を供養するお祭りです。

毎年家山和尚の命日になると、二羽渡神社のお地藏様の口の周りに、和尚の大好物だったあんこをべたべた塗って供養します。夜にはお地藏様の見守る中、盆踊り大会が開かれます。

【開催】8月26日(日)

新地町企画振興課

0244(62)2112



県からのお知らせ

募集
全国の祭りが一堂に会します
「ふるさとの祭り2012」
メイン会場観覧者募集

全国の祭りが大集結！日本最大級の地域伝統芸能の祭典「ふるさとの祭り2012」メイン会場の観覧者を募集します。郡山駅前、会津総合運動公園でも祭りのパレードや体験コーナー、観光物産コーナーなどの楽しいイベントが多数開催されます。

日時 10月27日(土)・28日(日)

場所 郡山市民文化センター

応募方法 郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数(2名まで)、観覧希望日を記載の上、郵便、ファクス、メールまたはホームページからお申し込みください。入場整理券をお送りします。(入場無料。応募多数の場合は抽選。)

応募締切 9月28日(金)当日消印有効

問 県庁文化振興課

☎024(521)7154

FAX 024(521)5677

福島県 ふるさとの祭り

検索

案内
いざいざいざい時のための備えを

9月1日(土)は「防災の日」、8月30日(木)から9月5日(水)は「防災週間」です。これは、大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないという意味を込め、制定されました。本県でも東日本大震災を経験し、災害に対する日頃の備えの重要性が再認識されています。

地震や豪雨などの災害は、いつどこで発生するか分かりません。避難場所や避難経路、非常持ち出し品の確認など、日頃から一つ一つ確認しておくことが、いざという時の安全・安心につながります。

問 県庁災害対策課

☎024(521)7194

福島県 災害対策課

検索

案内
申請は9月30日(日)まで
子ども手当

昨年10月分からの子ども手当を受給するためには、9月30日(日)まで(市町村窓口が閉庁日の場合、9月28日(金)まで)、住民票のある市町村へ申請手続きが必要ですが、まだ手続きが済んでない人は、期限までに必ず申請してください。申請されなかった場合、昨年10月分からの手当が受給できなくなりますので、ご注意ください。

なお、今年6月に手当を受給した人は、申請の必要はありません。

問 住民票のある市町村窓口

福島県 子育て支援課

検索

募集
就職に強い!!
県立テクノアカデミー
入学生募集

県立テクノアカデミー郡山・会津・浜各校では、平成25年度入学生を募集します。
対象 平成25年3月までに、高校を卒業・卒業見込みの者、または同等以上の学力を有する者

試験・会場 推薦入学試験と一般入学試験があります。試験は郡山・会津・浜の各校において実施します。

出願期間 最終日の正午必着

【推薦】10月1日(月)～10月5日(金)

【一般】11月1日(木)～11月9日(金)

試験日

【推薦】10月12日(金)

【一般】11月15日(木)

出願方法 入学願書及び必要書類を志願先の各校へ郵送または持参してください。

なお、入学願書の入手については、次へお問い合わせください。

問 県庁産業人材育成課

☎024(521)7829

テクノアカデミー各校

郡山 ☎024(944)1663

会津 ☎0241(27)3221

浜 ☎0244(26)1555

案内
県職員・市町村立学校職員
採用候補者試験

採用候補者試験を次のとおり行います。

募集職種 県職員(資格免許職)・・・司書、

栄養士/県職員(高校卒程度)・・・行政

事務、警察事務、土木/市町村立学校

栄養職員/市町村立学校事務職員(高校卒程度)

受験資格 職種により異なりますので、

ホームページなどで確認してください。

受付期間 7月30日(月)～8月17日(金)

※当日消印有効

第1次試験 9月23日(日)

問 県人事委員会事務局
☎024(521)7590

福島県人事委員会

検索

案内
美しい水環境を守りましょう

8月26日(日)～9月25日(火)は「福島県下水道普及促進月間」です。家庭で使われた汚れた水は、下水処理場で、きれいにし海や川に戻しています。美しい水環境の保全のために、下水道が整備された地域では、下水道への接続をお願いします。下水道に関する相談は、お住まいの市町村へお気軽にお問い合わせください。

問 県庁下水道課

☎024(521)7514

お知らせ
福島県公式フェイスブック
「ふくしまからはじめよう」
開始!

ふくしまの「今」を皆さんにお届けしていきます。ふくしまに関する投稿も受付中。
あなたの「いいね!」お待ちしています。



福島県のトップページからこのバナーをクリックしてご参加ください。

問 県庁広報課 ☎024(521)7014

福島県

検索

施設インフォメーション

環境水族館 **アクアマリンふくしま** いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

お盆イベント

恒例の金魚すくいにはアクアマリンふくしまで育てられた高級金魚も登場。その他、リコーダーをメインに演奏している音楽グループ「栗コーダーカルテット」のコンサートなど、楽しいイベント盛りだくさんです。

●開催期間：8月11日(土)～15日(水) ●入館料：一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、未就学児無料 ●年中無休



アクアマリンふくしま 蛇の目ビーチ

福島県立美術館

福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

ルーヴル美術館からのメッセージ：出会い

ルーヴル美術館のコレクションが福島県で初公開されることになりました。「出会い」をテーマに絵



《花の香りの賛美》古代ギリシア 紀元前470-460年頃 © 2006 Musée du Louvre / Daniel Lebée et Carine Deambrosis

画、彫刻、工芸など作品23点を展示します。優れた芸術作品との出会いをお楽しみください。

●開催期間：7月28日(土)～9月17日(祝) ●観覧料：一般・大学生600円、高校生以下無料 ●休館日：毎週月曜日(9月17日は開館)

福島県立博物館

会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

夏の企画展「恐竜時代のふくしま ー化石が語るふくしまの古環境ー」

地球の長い歴史の中で、中生代は地球上で恐竜が大活躍していた時代です。福島県の太平洋岸に分布する相馬・いわき地域の中生代の地層から、近年、恐竜をはじめとする脊椎動物・アンモナイト・昆虫・植物など、新種を含めた世界的に貴重な化石の発見が相次いでいます。展示では、これらの化石と化石を産する地層をもとに、恐竜時代のふくしまの生き物たちや当時の環境を復元します。大型の恐竜の全身骨格も展示します。夏休みの期間、太古の世界をお楽しみください。



直径35センチに達するアンモナイト 南相馬市原町区産 八巻安夫氏蔵

●開催期間：7月14日(土)～9月17日(祝) ●観覧料：一般・大学生500(400)円、高校生300(240)円、小・中学生200(160)円 ※()は20名以上の団体料金 ●休館日：毎週月曜日(ただし8月13日(月)、9月17日(祝)は開館)

福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

まほろんを描こう

まほろんの敷地内で絵を描きます。まほろんにあるものであれば、何を描いてもOK!展示室にいる「古墳時代の馬」や野外の「縄文時代の家」は、いつも人気の題材です。クレヨンや色えんぴつなどの画材はまほろんで用意します。



平成23年度の実施風景

●開催期間：9月15日(土)～17日(祝) ●対象：どなたでも ●参加料：無料

ビッグパレットふくしま 郡山市南二丁目

☎ 024(947)8010

8月11日(土)～12日(日)	絵本ワールド in ふくしま
8月25日(土)～26日(日)	24時間テレビ 35 「愛は地球を救う」
9月8日(土)～9日(日)	ごちそうふくしま満喫フェア

コラッセふくしま 福島市三河南町

☎ 024(525)4098

8月2日(木)～5日(日)	佐藤翔作品展
8月17日(金)～22日(水)	自然首都只見展
9月10日(月)～16日(日)	第24回福島県篆刻会展
9月24日(月)～30日(日)	空 (SORA)

福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

休館中 (9月29日(土)再オープン予定)



広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

◎県政新聞広報

県からのお知らせ

【福島民報・福島民友】
毎月第2・第4土曜日
の翌日

◎県政テレビ番組

うつくしま情報局

～ふくしまから はじめよう。～
【福島テレビ (FTV)】
毎週日曜日 9:45～10:00

ウィークリー県政トピックス

【福島放送 (KFB)】
毎週日曜日 17:25～17:30

県政 TV

～ふくしまから はじめよう。～
【福島中央テレビ (FCT)】
毎週土曜日 11:40～11:55

ウィークリー県政ナビ

【テレビユー福島 (TUF)】
毎週日曜日 11:40～11:45

◎県政ラジオ番組

知事室からこんにちは

ふくしまからはじめよう。ふるさとだより
【ラジオ福島 (rfc)】
毎月最終火曜 12:30～12:45

ふくしま EVENING BREAK

【ふくしま FM】
毎週月～金曜 17:30～17:35



復興の願いを込めて—— 「南郷トマトジュース」と「福島桃の恵み」の セットが当たる!

問題

今年で生産から50年を迎える県産トマトの名称は?

〇〇トマト

○の中に文字を入れてください。(ヒントは8ページ)

- 応募方法 / はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「南郷トマトジュース」と「福島桃の恵み」のセットを差し上げます。
- 締め切り / 8月31日(金)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広報ステーション

検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp

ファクス 024(521)7901



30名様に
プレゼント

▲「南郷トマトジュース」と「福島桃の恵み」のセット
(各4本、計8本)

9608670

県庁
広報課
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

〇〇トマト

興味を持った記事
地元で誇りにしている宝
本誌へのご意見・ご感想
県政への疑問・質問など

住所 氏名 年齢
職業 電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、商品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★8月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(6月号)の正解は 「再生可能エネルギー」 でした。

次回 (No.234) は10月1日号です。